

MC：はい、では最初の相談の時ですかね、エピソードがえられるんですよ、お2人の中で。

宮本：そうです。事業とか補助金とかそういったことは私の方がもちろんご説明するんですけど、私自身がバルーンの知識がなくて、バルーンと言ったら、佐賀のバルーンフェスタもしくはトイブードルのあのよくイベントで、ひねって作っているバルーンぐらい。あれがバルーンだというイメージだったので、そのワンちゃんのショップを開くの？とそれぐらいの知識しかなかったです。逆に今のバルーンは、どれだけ可能性があってアーティスティックな部分があるかっていうところをすごく彼女に教えていただきました。最初、私がとんちんかんなこと言っていましたよね(笑)

濱里：そうですね。なんかバルーンって言ったら、みんな何か手をくるくる回してひねりやつみたいなの？犬みたいなの感じでよく言われるんです(笑)逆に私はその分野を全く捨てて、なんででしょう…ギフトで花籠とか花束がバルーンになる、お部屋、空間をバルーンでデザインしていくという方を目指しています。

やっぱりどなたにも、バルーンショップ濱里です♪と言うと、あーこれ？みたいなみんな細長い風船のひねるやつを皆さん言われて、こんなに知られてないんだなっていうのは、毎回感じています。写真を見せて、いや違いますこれですって言って、自分が作った作品の写真を見ていただいたら、こんなものがあるの？とみなさんよく言われます。

MC：どんな写真があるんですか？

濱里：結婚式とか保育園の卒園式の装飾、桜の形をしたバルーンとかあるんです。透明のバルーンの中にまたバルーンが入っているとか。最近はまだバレンタインデーなので、バルーンの中にチョコレートを入れたりとか、あとぬいぐるみとかを入れたりとかですね。またバルーンにプリントができます、おめでとうとか卒業式おめでとうとか。

宮本：バルーンにぬいぐるみ??

濱里：バルーンにぬいぐるみも入れられるんですよ♪バルーンごとプレゼント。大きさはちょっとあるんですけどね。

宮本：どうやって入れるの？

濱里：それは企業秘密です(笑)チョコレートを入れていると、これどうやって入れていますか？って聞かれますが、それは企業秘密ですよ(笑)

宮本：なるほど(笑)

濱里：そんな大した企業秘密じゃないですけど(笑)

宮本：写真を見せていただいたら作品がすごくて、しかもコストパフォーマンスがすごくいいんです。通常のイベント会場の飾り付けよりも全然コストパフォーマンスが良くて、最後はちゅーって小さくなりますもんね♪

濱里：すごい風船って膨らむじゃないですか。膨らむので一番大きいものって 2 メーター膨らむ大きさのものもあるんですよね。だからそのボリュームがすごくでますよね、だからいいと思いますよ♪何かドーンしたい時、インパクトがすごく目立つので。

MC：宮本センター長は、初めて濱里様のアートとか作品を見られた時はどんな印象でしたか？

宮本：濱里さんは、アーティストさんなんだなとしみじみ思いました。濱里さんにしか生み出せないデザインとかアート、オリジナリティある唯一無二な点が、一番の強みなんだなと思ったんです。おそらく私が思っているバルーンのイメージを世の中大半の方は持っていらっしやると思います。皆さんが思われているバルーンと今主流となっているアートなバルーンはこんなにも違う、それを口で言っても、文字起こししてもおそらくわからない、これは見ないとわからない、見せるところを作りたい！とおっしゃる意味がわかりました。お話しを聞いて教えていただきながら自分自身もすごく納得でき、イメージがガラリと変わりました。ネットで検索しても、これだけバズっているというか、すごく注目されていることに気づきました。

MC：ガラッと変わりますね。

宮本：変わりましたね、トイプードルのワンちゃんだけとか思っていたのが(笑)

MC：Instagram とかでも多いですよね。お誕生日とか壁一面にバルーンアートといいますか、本当にその装飾自体がプレゼントになるような印象を持ちました。

濱里：ありがとうございます。

宮本：何年ぐらいもつんですか？膨らませたバルーン。

濱里：種類にも違うんですけど、普通のゴムの風船は大体空気だったら 1 ヶ月とかを持ちます。ヘリウムを入れて浮かせると、次の日には落ちてしまうっていう。フィルムとかだったら、ヘリウムを入れても今すごい技術が発達していったって、1 ヶ月とか浮きっぱなしのものもあります。花籠みみたいな感じのアレンジメントみたいにすると、この間去年プレゼントした物が今年 1 年そのままあって、1 年持てていますよ♪と言って見せていただきました。すごく嬉しかったです。

宮本：すご〜い！